

Factors Associated with the Development of Childhood Asthma in Japan: A Nationwide Longitudinal Study.

出典	Matern Child Health J 2020;24(7):911-922 (https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32342275/)
著者	Furuhata M et al.
調査地域	全国
調査時期	2001年1月と6月の出生コホートを10年間追跡
調査対象	母子出生コホートの10歳までの検討
依頼数	53375人
有効回答数 または回収率	88.1% (47015人) このうち45060人を解析
診断方法	独自の質問票
有症率	少なくとも1回喘息のため医療機関を受診したものが、0~10歳の間に17.5%、 6~10歳の間に12.0%
調査概要	全国規模の縦断調査で、小児喘息の発症と関連するリスク因子を検討している。